

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年2月6日 No.81

第51回定期中央委員会

2月6日 コルソホール(浦和)



第51回定期中央委員会

スローガン

1. 組合員の雇用と利益を守り抜くために、不当・不法行為とあらゆる妨害を許さないたたかいを強化し、25春闘勝利！過半数代表者選挙勝利！1万名組織をめざし、組織強化・拡大を実現しよう！
1. 戦後80年、JR羽越本線脱線事故・JR福知山線脱線事故から20年。過去から学び現実に向き合い、「抵抗とヒューマニズム」の精神を根底に、職場からのたたかいで平和な社会と安全第一の職場をつくり出そう！

25春闘 方針決定！

- ①JR 総連方針に基づき、**ベア一律 15,000 円**を要求する
- ②JR 総連方針を踏まえ、エルダー組合員の基本賃金 15,000 円の引き上げを要求する
- ③定期昇給(昇給係数 4)の完全実施を要求する
- ④21春闘における「定期昇給」カットの課題解決をめざす
- ⑤退職手当の算出基礎となる「第二基本給制度」の凍結を要求する
- ⑥65歳定年制を要求する

2月6日、コルソホール(浦和)において「第51回定期中央委員会」を開催しました。

質疑では、19名の委員から、要員不足の中、組織再編や「融合と連携」による弊害と一人二役三役をしている状況、25春闘や夏季手当の満額獲得に向けた決意、ローカル線をめぐる地元での運動づくり、平和運動の結節点、今後の組織のあり方、過半数代表者選挙、そして組織強化・拡大に向けた実践などが発言されました。また、委員の承認に基づき3名の傍聴発言が行われ、JR バス東北本部、JR バス関東本部、ステーションサービス協議会として25春闘をたたかう決意が発言されました。

そして、「被害者が加害者にされた!JR 東日本武蔵小金井駅暴行事件」で個人訴訟に持ち上がった若き組合員とともにたたかう決意が各委員から発言され、仲間の身の潔白を明らかにし、健全なJR 東日本をつくるために全組合員で裁判支援闘争をたたかい抜くことを確認し合いました。

不当・不法行為を許さず、人間らしく働ける職場と賃金を実現するため、組織強化・拡大でたたかい抜こう!